



つのもちよう

第41号

議会だより



ちょっと緊張してるかな？（さくらんぼ園入園式）

3月定例会

平成27年5月1日発行

主な紙面

町政最大規模に！平成27年度一般会計予算…… 2～5P

中央小学校6年生が傍聴に…… 12～13P

町政を問う（6人が一般質問）…… 14～25P

発行 高知県津野町議会

☎(0889)55-2038

編集 議会だより発行調査特別委員会

発行責任者 議長 中越一俊

印刷 笹岡印刷所

平成27年度一般会計予算

65億5,000万円

対前年度比
3億8,400万円(6.2%) 増

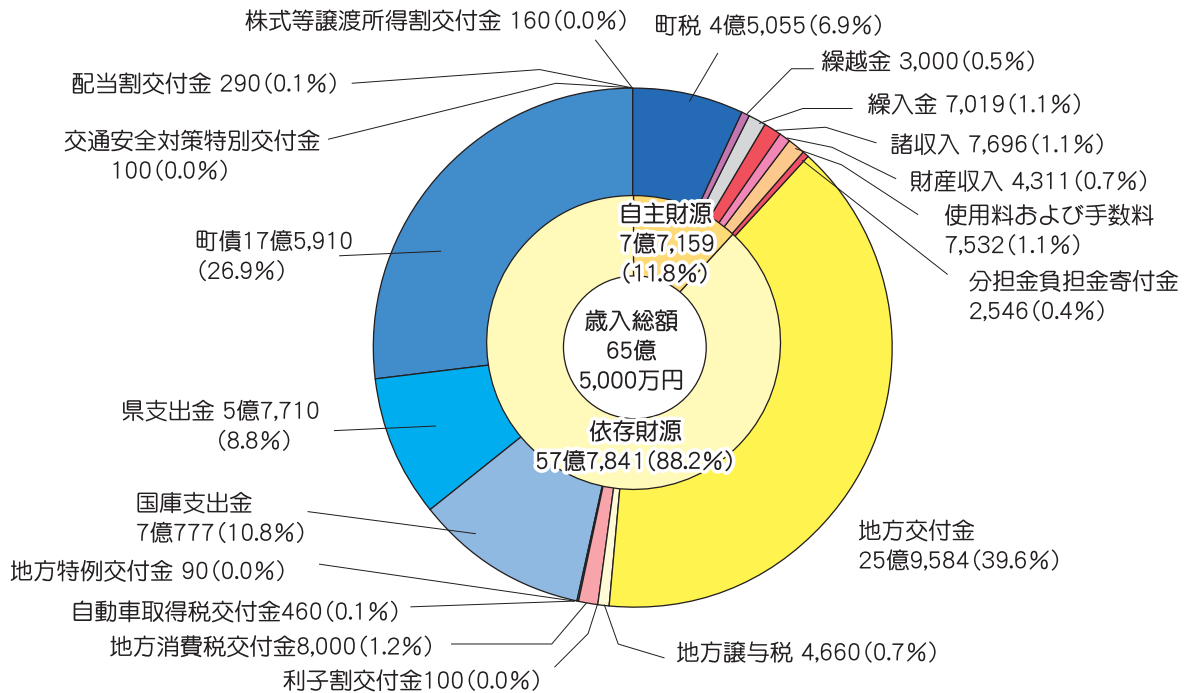
葉山総合センター整備事業 7億23万円

3月定例会は、6日から12日までの7日間開かれ、町長の施政方針、教育長の教育行政報告、専決処分2件の報告、26年度補正予算、27年度一般会計予算及び特別会計予算、条例改正等39件を可決、人事案件1件を同意した。また、委員会提出議案1件、議員提出議案1件のいずれも原案のとおり可決された。

一般質問には、6人が立ち、国道・県道の改良工事の見通し、避難対策、空き家対策、地方創生への取り組み、伝統・文化の継承への取り組み、産業の振興、若者定住対策等について執行部をたじた。

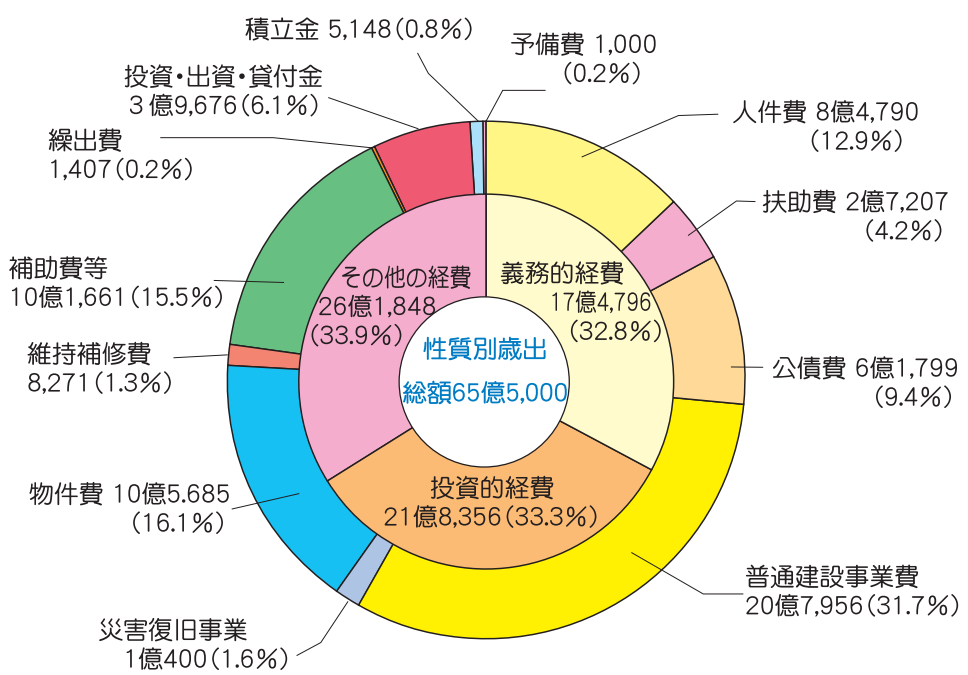
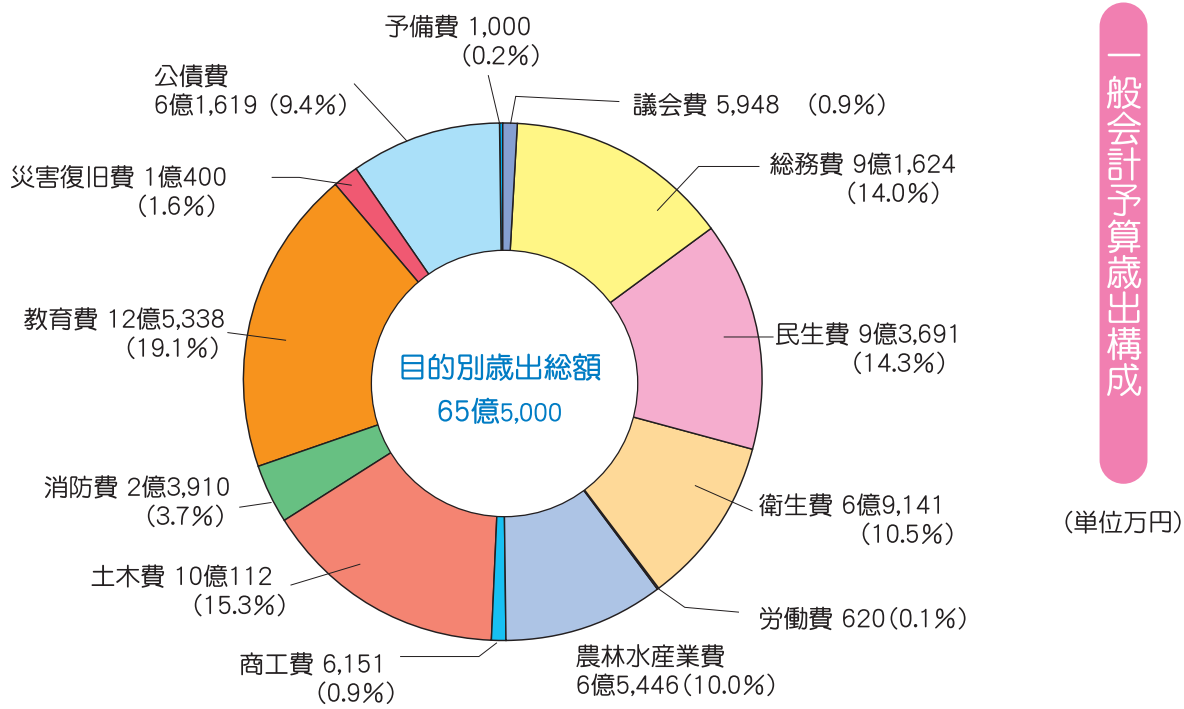
一般会計予算歳入構成

(単位 万円)



歳入(収入)

町税	町民が収める税金(町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税)
繰入金	町の基金(貯金)から繰り入れるお金
交付金等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地方交付税	地方税収入が不足するため、国税(所得税、法人税、酒税など)の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町債	道路の開設や公共施設の建設など、大きな事業を実施するときに借りるお金
公債費	町が借り入れたお金(町債)の返済金
自主財源	町が自前で賄うことができるお金
依存財源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金



歳出(支出)

義務的経費	
人件費	職員や町長、議員への給料・手当など
扶助費	生活に困っている人を支援する費用
公債費	事業を進めるために行った借金の返済金
投資的経費	
普通建設事業費	道路改良や公共施設といった建設事業に必要な投資的な経費
災害復旧費	公共施設や農地などの災害復旧に必要な経費
その他の経費	
物件費	自治体を使う消耗品や備品代、委託料などの費用
補助費等	広域事務組合や各種団体などへの負担金、補助金
繰出金	国保事業や介護保険事業などの特別会計に充てる費用
その他	貯金(基金への積立金)や施設の維持補修などに係る費用

統合・整備される茶工場



増改築される旧郷小学校



葉山総合センター建設予定地



水道が改善される下桑ケ市地区



社会資本整備事業による町道整備（久保川東線）



床鍋ヘリポート建設予定地



会計別予算

(円)

会計名	27年度予算額(円)	26年度予算額(円)	前年度比	
			金額(円)	伸び率(%)
一般会計	65億5,000万	61億6,600万	3億8,400万	6.2
国民健康保険事業特別会計	11億2,023万	10億7,843万	4,180万	3.9
(事業勘定)	9億7,222万	9億2,770万	4,452万	4.8
(直営診療施設勘定)	1億4,801万	1億5,073万	△272万	△1.8
簡易水道事業特別会計	4億206万	1億7,654万	2億2,552万	127.7
生活環境施設特別会計	8,129万	8,643万	△514万	△5.9
介護保険事業特別会計	7億6,459万	7億5,695万	764万	1.0
後期高齢者医療特別会計	8,852万	9,024万	△172万	△1.9

国民健康保険事業勘定は、国保税の引き上げと一般会計からの財政支援等繰入金が行われていないが、財政調整基金の取り崩し額5千500万円を計上しており、厳しい運営状況である。

簡易水道事業特別会計は、大野簡水（西黒川）区域拡張工事及び大野簡水全体の測量設計費、公債費の償還による。

生活環境施設整備特別会計は、合併処理浄化槽30基分を予算化した。

介護保険事業特別会計は、65歳以上の介護認定者に対する所要額を計上した。

後期高齢者医療特別会計は75歳以上の人口1千559人を対象に、低所得者に対する保険料の軽減分を含めた所要額を計上した。

平成27年度一般会計予算の事業概要

新規事業（抜粋）

単位（千円）

科目	科目	予算額	備考
総務費	住宅耐震診断調査事業	8,000	S56.5.31以前に建築された住宅の耐震診断
	住宅耐震改修助成事業	23,125	S56.5.31以前に建築された住宅の耐震改修
	住宅耐震改修設計費補助事業	5,125	S56.5.31以前に建築された住宅の耐震設計
	住宅耐震化推進補助事業(単独)	4,625	耐震改修、設計に対する町単独の上乗せ補助
	コンクリートブロック塀耐震対策事業	410	地震発生時のブロック倒壊等の防止対策
	番号制度システム改修事業	42,541	平成27年10月施行の個人番号付番・通知に伴い現在利用している住民情報システム(ユースR/AD II)のカスタマイズ改修に必要な経費
	郷地区集落活動拠点整備事業	101,221	旧郷小学校体育館の増改築
	船戸地区公共施設再編計画事業	1,674	船戸地区集会所、旧船戸幼稚園、旧船戸小学校体育館の利活用について活動の拠点となる施設の改修を翌年度以降に実施するための基本設計費。
	シェアオフィス整備事業	3,200	シェアオフィスモデルルームの整備(白石小学校)
	貝の川地区集落活動拠点整備事業	1,610	貝の川地区集落活動拠点施設基本・実施設計
	高知県緊急用ヘリコプター離着陸場整備事業費	9,959	床鍋地区へのヘリポート整備
国勢調査費	5,563	5年ごとに実施される人及び世帯に関する全数調査	
衛生費	下桑ヶ市飲料水供給施設整備事業	32,875	下桑ヶ市飲料水供給施設整備工事 7世帯14人
労働費	緊急雇用基金事業(地域ひとつづくり事業)	6,198	緊急雇用創出基金事業による人材育成事業「津野町林業振興地域人づくり事業」「津野町飲食・食品加工人づくり事業」
農林水産業費	茶工場整備費	89,067	茶製品製造における基盤整備。茶工場改修事業・茶製品製造ライン整備
	茶工場整備諸費(単独)	12,291	茶工場屋根改修工事等
	多面的機能支払交付金事業	8,223	農道・水路の維持管理に対して交付。
	高性能林業機械等整備事業	1,422	ウインチ付きグラブ等の購入に対する須崎地区森林組合への補助
	原木増産推進事業	16,125	自走式ウインチの購入に対する津野町森林組合への補助
商工費	津野町農林商工連携応援補助金	4,065	「商品開発・磨き上げ」「商品PR」「アドバイザー支援」「空き店舗活用」に係る町内中小企業への補助費
土木費	道路維持補修費(単独・起債対象)	26,100	町道の維持補修で起債対象となるもの
	町道改良事業(単独・起債対象)	15,000	町道改良単独事業で起債の対象となるもの(町道上岩土線)
消防費	消防屯所整備事業	17,100	郷分団1部消防屯所新築工事及び設計監理
教育費	保幼小連携推進事業	1,058	津野町内の認定こども園(保育・幼稚)における就学前の保育・教育と小学校教育の連続性、一貫性を確保した円滑な接続を推進するため保幼小連携推進プラン(実践)を策定する。 ○高知県保幼小連携推進事業費補助金(補助率 1/2以内)
	ガイダンス施設(虎太郎邸)運営事業	10,663	平成26年度に整備した吉村虎太郎邸運営に関する事業 ・指定管理委託 ・ガイダンス施設備品購入 ・ガイダンス施設運営に関する消耗品等の購入
	葉山総合センター整備事業	700,230	葉山総合センター本体・外構・備品等の整備

主な継続事業

農林水産業費	有害鳥獣被害対策事業	18,908	有害鳥獣駆除奨励金等
	森林整備地域活動支援交付金	14,670	経営計画作成促進・施業集約化促進等
	林道馬場山線整備事業	45,050	林道開設
	林道船戸下郷線整備事業	30,050	法面改良等
	林道北山貝名線整備事業	30,050	法面改良等
	林道蓬尾線整備事業	30,050	法面改良等
	林道太夫畑線整備事業	25,050	舗装工事等
土木費	道整備交付金事業	400,800	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(社総金)	180,500	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(防安金)	85,250	町道整備
	社会資本整備総合交付金事業(老朽化対策)	95,250	計画作成・橋梁修繕等
	がけくずれ住家防災対策事業	30,000	2カ所他予定

26年度補正予算

▼一般会計補正予算(第6号)

各事務事業について決算見込みに対する予算精査を行い、増減額を計上するとともに、国の緊急経済対策を受けて、「地域消費喚起・生活支援型」及び「地方創生先行型」交付金4千870万2千円を計上。また、各災害復旧費の査定確定に伴い2億3千584万円を減額。交付税の留保分等として財政調整基金に4億1千634万2千円を積立、歳入歳出5千700万円を増額し歳入歳出の総額を72億8千100万円とする。(可決 全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

事業勘定で1千106万6千円減額。直営診療施設勘定で420万3千円を減額。歳入歳出の総額を事業勘定9億3千398万1千円、直営診療施設勘定1億4千948万1千

円とする。

(可決 全員一致)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出303万円を減額し、歳入歳出の総額を7億6千260万2千円とする。(可決 全員一致)

▼簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

事業費の確定等により1千240万円を減額し、歳入歳出の総額を1億6千735万8千円とする。(可決 全員一致)

条例の制定・改正

▼津野町再生可能エネルギー基金条例の制定

町が設置する太陽光発電設備について、電力会社への売電収入を設備の維持管理等の財源に充てるため基

金を設置するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町山林収益地域振興基金条例を廃止する条例

合併協議に基づき制定された条例で、津野町発足時において旧村で所有していた町有林の管理及び収益金は旧村単位で使用するとし、現在では管理・経理とも二重管理となっており、事務の煩雑化を招くため、条例を廃止するもの。(可決 全員一致)

▼津野町山林収益基金条例の制定

合併10年を迎え、一つの町として林業施策をはじめとする地域振興事業を行い、また適切な町有林管理を進めていくうえで新たに条例を制定するもの。(可決 全員一致)

▼地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関

係条例の整備等に関する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により改正するもの。

- ①津野町学校教育等審議会条例の一部改正
- ②津野町奨学金貸与条例の一部改正

教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなり、教育委員会の委員長の職が廃止されることに伴い「教育委員会委員長」を「教育委員会代表」に改める条例改正を行うもの。

③津野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなり、教育委員会の委員長の職が廃止されることに伴い、当該職の者に支給される報酬に係る規定を削除するもの。

④津野町教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止

教育公務員法特例法の適用を受ける常勤職員の職が廃止されたことに伴い廃止するもの。(可決 全員一致)

▼津野町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

特別職となる教育長の職務に専念する義務の特例に關し必要な事項を定めるもの。(可決 全員一致)

▼津野町教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定

教育公務員法特例法の一部改正等を考慮し、特別職となる教育長の勤務時間その他の勤務条件を定めるもの。(可決 全員一致)

▼津野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

津野町家庭的保育事業等の認可申請があつた際に基準に適合するかの審査をする必要があり、町がこの基準に適合するかの判断を行い許可するために従うべき基準と参酌すべき基準を制定するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

津野町放課後児童健全育成事業の認可申請があつた際に基準に適合するかの審査をする必要があり、町がこの基準に適合するかの判断を行い認可するために従うべき基準と参酌すべき基準を制定するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

津野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の認可申請があつた際に基準に適合するかの審査をする必要があり、町がこの基準に適合するかの判断を行い認可するために従うべき基準と参酌すべき基準を制定するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町立幼保連携型認定こども園条例の制定

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正により、幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準等について条例で定めることとされたため条例を制定するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町職員定数条例の一部改正

選挙事務に関する職員を増員するため、兼任職員を5人から6人に改めるもの。

(可決 全員一致)

▼津野町職員の給与に関する条例の一部改正

平成26年10月の高知県人事委員会勧告の趣旨に沿って、職員に対して支給する諸手当について改定するもの。

(可決 全員一致)

▼介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

平成27年4月1日施行の介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の交付に伴い、関係条例の一部改正を行うもの。
①「複合型サービス」が「看護小規模多機能型居宅介護」に名称変更される。

②「小規模多機能型居宅介護事業所」及び「看護小規模多機能型居宅介護」の登録定員及び利用定員を変更する等。

(可決 全員一致)

▼津野町介護保険条例の一部改正

平成27年度から平成29年度までの第6期の介護保険計画に基づき、平成26年度までの第5期計画の保険料基準月額4千450円を130円増額し、月額4千580円(年額5万4千960円)と定め、1段階から9段階までの介護保険料額に関する適用法令の条項を改正するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町給水条例の一部改正

給水区域の拡張により条例を改正するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町道路の構造の技術的基準及び道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正

第23条第1項の表中、設計速度と縦断勾配を改正するもの。

(可決 全員一致)

▼平成26年度林道柿の木谷線災害復旧工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 6千134万4千円
請負者 (有) 稲田建設

(可決 全員一致)

委員会発委

▼津野町議会委員会条例の一部改正

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、第19条中「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に改めるもの。

(可決 全員一致)

議員発議

▼津野町議会議員政治倫理条例の一部改正

町から活動又は運営に対する補助又は助成を受けている団体等の長に就任しな

いことを団体等の長には、議長が特に認めるもの以外は就任しないことに改める等。

(可決 全員一致)

その他の議決

▼津野町公の施設の管理に係る指定管理者の指定

白石地区集落活動拠点施設の指定管理者として「白石地区活性化検討委員会」を指定 (可決 全員一致)

津野町直販所十津店の指定管理者として「有限会社津野町ふるさとセンター」を指定 (可決 全員一致)

津野町農村交流施設床鍋森の巣箱の指定管理者として「森の巣箱運営委員会」を指定 (可決 全員一致)

津野町農村女性グループ活動促進施設の指定管理者として「はやまの茶屋」を指定 (可決 全員一致)

高原ふれあいの家天狗荘の指定管理者として「一般財団法人天狗荘」を指定 (可決 全員一致)

津野町生産物直売所の指定管理者として「有限会社津野町ふるさとセンター」を指定 (可決 全員一致)

津野町老人デイサービスセンター「津野ゆの里」の指定管理者として「高陵特別養護老人ホーム組合」を指定 (可決 全員一致)

津野町吉村虎太郎邸の指定管理者として「維新の魁」虎太郎社中を指定 (可決 全員一致)

▼津野町建設計画の変更

平成24年6月27日施行の東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律により、合併特例債を財源とすることができ期間が5年間延長されたことから、引き続き津野町建設計画に基づく合併特例債

の活用を可能にし、将来の財政運営に柔軟性をもたせるため、計画を変更するもの (可決 全員一致)

▼津野町道の路線の廃止について

道路法第10条第1項の規定に基づき町道の3路線を廃止するもの (可決 全員一致)

▼津野町道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき町道の20路線を認定するもの (可決 全員一致)

委員の選任

▼津野町教育委員会委員

中久保昌助氏 (新任)
津野町重谷
昭和20年生



(同意 全員一致)

陳情の審査

▼TPP交渉に関する陳情

(決定) 不採択
(理由)

陳情の趣旨は認めるものであるが、津野町議会においては平成25年12月定例会において同様の意見書を国に提出しているため不採択とした。

▼農協改革など「農業改革」に関する陳情

(決定) 不採択
(理由)

規制改革会議の答申に基づき農業改革については、平成26年6月24日に閣議決定され、現在、法整備が進められていること、また提出者が任意団体であることから不採択とした。

▼米価対策の意見書を求める陳情

(決定) 不採択
(理由)

コメ直接支払交付金の半減や米価変動補てん金交付金の廃止は本町のような零細農家には直接的な影響がないこと。また、備蓄米制度については、平成5年の米の大凶作による混乱の経験を踏まえ、消費者に安心して米が提供できるよう平成7年に制度化され政府において備蓄水準を定め、適切に運用されている。陳情事項にある過剰米の市場乖離と米価には直接因果関係がないとの判断により不採択とした。

▼「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に関する陳情

(決定) 継続審査

(理由)

意見書の案がないため内容等具体性に乏しく、今後陳情者に対し意見書の提出を求めることから継続審査とした。

▼「公契約条例の制定」を国と県に求める意見書採択についての陳情

(決定) 採択

(理由)

経済対策の柱の一つとして大型公共事業の推進を掲げ、設計労務単価が引き上げられたが、建設に関わる労働者不足に歯止めがかからず、若者の入職希望者は激減している。近い将来、南海トラフの大地震により被災が確実になっている現状を踏まえれば被災時に復興の最前線となる地方建設業の維持・育成は不可欠であり、それに関わる建設関係労働者の確保は重要課題である。

(決定) 採択

(理由)

郵政事業とは郵便のみならず貯金・保険の3事業のユニバーサル・サービスの義務をしっかりと果たすことが郵政民営化の目的である。日本郵政や金融2社の株式処分のあり方が検討されなければならぬという陳情の趣旨に賛同することから採択とした。

▼「最低賃金の大幅引き上げ」「全国一律の最低賃金制度」を求める意見書採択についての陳情

(決定) 採択

(理由)

昨年11月の有効求人倍率は、1・12倍と22年6カ月ぶりの高い水準であると厚生労働省は発表した。労働者・国民の生活実態は依然厳しい状況に置かれており、格差と貧困はより拡大している。その大きな要因は労働者の実質賃金低下と不安定雇用の拡大である。非正規雇用者の増加は格差や貧困を拡大させ、景気の底上げを停滞させている。政府が掲げる「地方創生」を果たすためには地方経済の底上げが必要不可欠であり、都市部と地方・正規と非正規の格差是正と最低賃金の底上げによって地方で働き続ける制度作りが重要であるという陳情の趣旨に賛同することから採択とした。

▼「自らの癌体験を癌患者が自由に語れる行政の場を求める陳情」

(決定) 継続審査

(理由)

自らの癌体験を自身が自由に語って頂く事に対して何ら問題はないが陳情内容が明確に示されずおらず本人に確認すべく継続審査とした。

臨時議会

2月12日、平成27年第1回臨時会

▼津野町集落活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例の制定

活気ある地域づくりのための様々な活動の拠点とする集落活動拠点施設として増改築を行っている旧白石小学校を管理運営するため条例を制定するもの。(可決 全員一致)

▼津野町地域優良賃貸住宅の設置及び管理運営に関する条例の制定

平成27年4月から姫野々において地域優良賃貸住宅を管理運営するため条

例を制定するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町ステップ住宅条例の一部改正

定住奨励金の交付割合について各10%のかき上げを行い、町内の建築業者により住宅を取得した場合は、各交付割合について更に10%加算するもの。

(可決 全員一致)

▼津野町吉村虎太郎邸設置及び管理運営に関する条例

四万十川源流の重要な文化的景観を町内外に紹介するとともに、地域の振興を図るための施設として「吉村虎太郎邸」を管理運営するため条例を制定するもの。(可決 全員一致)



池田町長

町長 行政方針

学・メディア等の知見も活用し策定していく。

山元貯木場と間伐

平成27年度は津野町が誕生して11年目を迎える。この10年間「自然と共生する響働のまち」を将来像として町民と一体となり「まちづくり」に取り組んできた。主要な施策については今年度策定した「第Ⅱ期まちづくり計画」に沿って以下提案する。

思いやりと協働のまちづくり

集落活動拠点施設等においては新たな補助制度の創設を図り活気ある地域づくりや住民組織を支援する。

地域資源を活用した豊かなまちづくり

平成27年度中に地方総合戦略の策定が求められている。津野町独自の総合戦略は住民をはじめ産業界・大

い。連動して津野町独自の情報発信や観光客への「食」や「土産品」の開発を進めていく。

自主防災組織の充実

昨年町内に出向き説明会を行った結果、32地区で22の自主防災組織が規約を作り活動を行う地区もできた。更なる充実を目指す。

住宅の耐震化の推進

今年度は木造住宅に加え非木造住宅の耐震診断・設計・改修がおこなえるよう要項を見直し耐震化の推進をしていく。

床鍋ヘリポートの整備

ドクターヘリの離着陸場所は16カ所である。南海トラフ巨大地震発生時には孤立が予想される床鍋地区に残土跡地をヘリポートとして整備していきたい。

移住促進

若者定住施策や子育て支援施策に加え、さらなる県外からの移住推進を目指し国・県の空き家改修制度を活用し移住者対策をしていきたい。

健康で笑顔あふれるまちづくり

高齢化が進む中、町民が認知症について正しく理解するための啓発活動・早期発見できる体制整備・適切なケアができる介護者の育成や支援を行っていく。

社会教育の充実

町立図書館の計画的な蔵書整備を行い利用者増に努める。「放課後子ども教室の充実」「子どもの豊かな心の育成や体験活動の推進」「高齢者・女性対象講座」の提供など社会教育の充実を図っていく。

社会体育の推進

スポーツ推進委員会、体育協会、各スポーツ団体等との意見交換を行い新たなスポーツ・レクの基本計画を策定していく。

歴史資料の活用

町内の歴史の偉人や民話の資料整備を行う。民話20作品と偉人のアニメーションとDVDを作成する。

効率的で健全な行財政運営によるまちづくり

財政状況は健全であるが滞納繰越分の改善課題がある。平成27年度も「租税債権管理機構」へ職員を派遣して専門知識と徴収率の向上を目指したい。

職員の派遣・出向

一般行政職で職員の人材育成を目的とし7名を予定。

介護保険事業

今年度の介護保険基準額は月額で130円増の4千580円としていく。

国民健康保険税

今年度は基金から充当し国保税は据え置きとする。

津野町新町づくり計画

平成27年度から36年度までの本町のまちづくりの指針となる「第Ⅱ期津野町まちづくり計画」は6つの基本目標を定め、町民と行政による協働のまちづくりを推進していく。



川上教育長

教育 行政方針

せ1年間の研修を予定している。

東区の0歳～5歳の乳幼児数は149名で「にじいろ園」入園予定園児数は130名。西区の0歳～5歳の乳幼児数は76名で「さくらんぼ園」入園予定園児数は60名。

小・中学校の課題としては他人の心や気持ちを理解すること・命を大切にすること・生きることについての目的意識を持つことや社会常識を持つこと等「人として、また人間として育てること」が重要であると考えている。自己肯定感を高めながら「ふるさと津野町」に対して誇りを持たせ「学習の意義」を理解させている。規律や生活態度についても向上させてきている。

道徳授業だけでなくキャリア教育とあわせ学校全体のレベルの底上げを図っていききたい。学力の定着には基礎問題・活用問題に課題がある。一昨年より「津野っこ夢プラン」と題して問題解決型授業への改革に取り組んでいる。

生涯学習については少子

高齢化が進む中で子どもから高齢者まで「明るく元気で生きがいのある有意義な生活ができる」ことが生涯学習に求められている。学校・施設外で園児や児童生徒の育成として子ども会団体支援や津野っこ体験事業・ふれあい寺子屋などの開催、青少年健全育成に向けた防犯活動を継続する。また、学校支援地域対策本部事業や放課後子ども教室推進事業の拡大・充実を図る。婦人会の育成・支援として各種研修や料理教室・総合健診ボランティア・赤十字活動の事業を行い、さらに女性の生活向上や地位向上の活動等の支援をする。

高齢者の生涯学習としては生きがい活動や教養を高める活動を推進する。また、一般町民への生涯学習講座も実施していく。「かわうそ図書館」や「虎太郎図書館」で講座やイベントを今年も計画する。文化活動については町内の15文化団体による秋の文化祭や舞台発表会等の支援を行う。

今年新たに地域の文化財や伝統芸能の存続・継承をしていく。四万十川流域文化的ガイダンス施設として「吉村虎太郎生家」が完成する。津野町の歴史の顕彰や学習に生かしていきたい。スポーツ振興については町民の健康維持のために推進していく。総合型地域スポーツ団体「津野げんき倶楽部」の解散は残念だが、今年度もスポーツ振興・啓発を行っていく。

葉山総合センター体育館は平成27年度に着工予定より良い施設としていく。葉山中学校のプールは全国的な校舎の耐震整備が優先されて今年度の整備ができない。いじめ問題について各校とも現在は無いと報告を受けている。不登校とされる年間30日以上欠席者は小学校に一名、不登校に準ずる生徒は2中学校で三名在籍している。葉山中学校卒業生は39名全員、東津野中学校も20名全員が進学希望をしている。

昨年度、政府は教育改革推進計画の中で、地方自治体においても「いじめ防止基本方針」や「いじめ防止対策推進法施行条例」を制定した。さらに少子化の進行や待機児童問題の対策として「子ども・子育て支援事業計画」をはじめ関係条例の制定をした。

また「教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正された。大きくは教育委員長と教育長が一本化され「教育長」になることにより責任体制を明確にした。本来、教育委員会は「政治的中立の確保」から首長と教育委員会は一線を画してきた。

今回の改正で首長が教育委員と教育行政について議

論を進める場が確保された。「にじいろ園」「さくらんぼ園」は平成26年度に職員を増員して園児への早期の対応が出来るようになったが、保育士や幼稚園教諭の有資格者が不足している。

平成27年度は「親育ち」を目的とし保育者体験事業や懇談会・家庭訪問等に取組む。出産や育児に不安を抱える保護者との関わりを持ち健全な子育てができる支援体制を築きたい。

今年度も県のアドバイザーや幼保支援課の指導、各種研修制度を活用し保育士や幼稚園教諭の資質向上を目指す。また、教育センターに一名を出向さ

中央小6年生が傍聴に

3月定例会には、中央小学校6年生12名が社会学習の一環として議会の傍聴に来てくれました。感想文を投稿してくれましたので紹介します。

この間は、議会を見せていただきまして誠にありがとうございました。ありがとうございました。

私は、議会を見させていだいたおかげで社会は、こんなふう動いていて、おかげで暮らせているんだなあと思いました。

いろいろな意見が出て、それに答えが出来ていたので、私たちの日頃の授業からたくさん意見の出し方に使っていきなあと思いました。これを取り入れて生活をする事も大切だと思えました。

これからもいろいろ大変なこともあると思うけど一生懸命がんばってください。私もがんばります。

谷本 有佑奈

この前は議会を見せていただきありがとうございました。

そこで、議会を見てびっくりしたのは、話し合いでみんなが積極的に発表しているのがびっくりしてすごいと思いました。僕は、発表はするけど、どんだん積極的にはしないので次から発表し、自信を持って発表していこうと議会を見て思いました。

それと僕たちが見たのは、決めるのはほんの一部でまだいっぱい話し合わなくちゃいけないから大変だと思いました。でも、これからはがんばって決めていってください。

池 優二郎

先日は、議会を見せていただきありがとうございました。僕はたくさんの方が話し合っていて、町長さんなどは前に出て、詰まらずに話していて質問にはきちんと答えていてとても勉強に

なりました。僕も質問には、すぐに答えられる人になりたいと思えました。また、自分が疑問に思ったことをすぐに言える人になりたいです。そのためには質問をたくさんできる勇気がいるのかなと思いました。また、議会に行くチャンスがあったら行って、また見学してみたいと思いました。

井関 涼

このたびは、議会を見せていただきありがとうございました。

私は議会を見たことがなかったのですが、勉強になりました。

議員の人たちは、自分たちが納得するまで質問をされるのが分かりました。

それは、津野町がもっとよりのよい町にしたいからだと思います。その方たちのおかげで、津野町に住みやすい町になっていいることが分かりました。答える方も質問した人に分かりやすい答え方をしていたので、いいなと思いました。これからも議会ががんばってください。

山田 華恋



本庁舎議場

この度は、議会の傍聴席でわたし達を見学させていただきありがとうございます。ありがとうございました。

見るのが初めてだったので、話し合い方などで自分の意見をしっかりと伝えていってほしいなと思いました。

私は、あまりここまで一時間も静かにしたことが無いので、途中であくびが出たり足をバタバタ動かしたりしてました。議員のみなさんは姿勢をずっと保っていてすごいです。

私も姿勢をしっかりと保って卒業式をむかえたいです。

矢野 倫己

先日は、議会を見せてくださってありがとうございます。ありがとうございました。

私が聞いていると予算のことについて話しているなと思いました。

議会に来ている人たちは、津野町のことをとても大切にしていると感じました。あんなに長い時間、人の話をよく聞いて、たくさん発言をして良い姿勢ですわっていました。見ている私は何度も動いていました。発

言をされた人は、「そのことについて」など言っていたのですが議会だなと思いました。

私も長時間良い姿勢でいられるように努力したいです。

黒田 あい

先日は、ありがとうございます。ありがとうございました。

僕は、議会はどんなのだろうと思って始めて始まったけどあまり分かりませんでした。

一番の人は、僕にとっても似ていると思います。僕も気になったことは質問をちゃんとしています。あんなに質問をねばって言うことは、相手を納得させる手段として使うのもいいかなと思います。僕もこれから自分の考えをしっかりと持ち、相手を納得させたいと思います。

川上 雅也

先日は、僕たち六年生のために見学をさせていただきありがとうございます。僕は、何か難しいことを話し合うのかなと思っていただけ、僕たちにも分かる

学校の不登校の人が三名いるとかも話していたので、こんなことも話し合っているんだなと思いました。

僕は、あまりにも質問している人がいたので、言い合いになるんじゃないかと思いました。でも、納得するまで聞くというのは大事だなと改めて感じました。

僕も、これから納得するまで聞きたいです。

片田 亘紀

先日は、お忙しい中議会を見せていただいたありがとうございます。ありがとうございました。

僕は、議会がどのように行われているかさっぱり分からなかったけれども、どんな流れでやるのかなど分かったのが良かったです。

そして、みんな自分の意見をきちんと言っていたので、僕も見習って自分の意見をすぐに言えるようになります。ありがとうございます。

谷脇 綾人

この間は、お忙しい中、議会を見せていただきありがとうございます。

津野町を支えてくれていて、いろいろな人たちが議会に集まっていて、町の問題とか、いろいろなことについて、話し合ってくれているからすごいなあと思いました。そして、意見について質問とかあったりしたら、すぐにそのことについて答えていたのすごいです。

僕も、これからは、姿勢もきれいで、あまり動きもしていなかったの、すごいと思いました。だから、私も学校生活の中で姿勢良く授業に取り組みたいです。

先日は、ほんとうにありがとうございます。

西森 彩夏

先日、議会を見せて頂いてありがとうございます。おかげで議会というものがどういうものなのか見学して勉強になりました。

議員さん達が話し合い、この津野町をよりよい場所にしてくれようとしていたのです。良かったです。

教育の場合でも話し合い、私は不登校の人が津野町内

の学校で三人もいると知りました。

私も将来、人の役に立つ仕事をしたと思います。そのため、勉強やスポーツを頑張りたいと思います。

本当にありがとうございます。

村田 千紗

先日は、議会を見せていただき、ありがとうございます。

私は、議会というものは、どんなものなのか知らなかったけど、議会を見せてもらって、納得するまで意見を出し合い、一つにまとまって決まってくることが分かりました。また、議員のみなさんが協力してその活動に取り組んでいくことが良く分かりました。

意見を出し合っている時に、質問がきても、すぐに答えていたのすごいなあと思いました。

中山 歩子

問 ふるさと納税の現状は

答 7年間で1,400万円



大崎 芳章

一般質問

大崎（芳）

インターネットで津野町のふるさと納税を見ると、事務的なことしか書かれていない。納税の現状と取組み、最近の納税額と使い道、特産品については。

下元総務課長

ふるさと納税は平成20年度の税制改革で創設された。津野町では20年度から26年度までに延べ48件、約1千400万円の寄附があり、鮎の放流事業へ26年度までに240万円を充当。27年度も60万円を充当する。寄附のお返しは、5千円以上5万円未満が3千円相当、5万円以上10万円未満が5千円相当、10万円以上は1万円相当の季節の野菜や満天の星の製品を送付している。

大崎（芳）

郷工区の改良工事が進んでおり、北川く大古味間は後回しになっている。大雨の時には異常気象時通行規制で通行止めになる。地元は随分と辛抱してきた。改良工事はいつ頃か。

池田町長

9市町にまたがっており、整備促進期成同盟会を設置して、県・国に整備促進を強力に要望している。郷工区が6月に全線完了し、大きな一歩を踏み出す。県工事で改良時期等については明確にできない。439号線の全体整備については工区を起こして、集中投資しながら整備を進めていく工法をとっており、工区を設定できない箇所は局部改良しているのが現状。現在1.5車線化しているが、将来的には2車線化に

問 国道439号線の改良工事は

答 整備促進に力を入れる

なると思っっている。整備促進に力を入れていきたい。

高橋西庁産業建設課長
部分改良・局部改良・一部2車線化等、要望して現実に施工している。優先権が梶原町に移っているが、執行残で施工している。修繕事業も、側溝の修繕など積極的にやっていく。



度々通行規制の係る国道439号（北川）

問 県道19号線の改良工事は

答 平成30年末に岩土

トンネル完了

大崎(芳)

県道19号窪川・船戸線の岩土く西倉川間のトンネル工事や、上桑ケ市く下桑ケ市の峠の工事はいつになるのか。この路線も異常気象時通行規制のかかる道である。本工区は休み休みで随分と時間がかかっている。

高橋西庁産業建設課長

桑ケ市トンネルで21億円くらい要した。現在、岩土の2工区に着手している。史跡の発掘調査で時間を余儀なくされた。この間に測量が進み、用地購入をしてきた。国道ほどの事業費が県道には付かないので一定の時間がかかる。

岩土トンネルの灯り部分の工事をしており、平成30年末に完成の予定。完了時点で下桑ケ市工区を立ち上

げ、平成32・33年頃に着工できる要望を持っている。

迂回路の隠地線を整備、完成時期に着工が間に合うよう努力する。



県道19号 (下桑ケ市)

問 いつでも使えるAEDを

答 宿直対応で12カ所に

大崎(芳)

津野町内のAED(自動体外式除細動器)は約50個ある。しかし、設置場所が偏ったり、夜間に使えないものもある。24時間対応のAEDは民間の4カ所しかない。消防署や役場の玄関・消防屯所の中などに設置をして、いつでも誰でもが使えるようにしては。

下元総務課長

24時間、職員・社員がいる所もあり、使用可能なAEDを設置している施設は11カ所ある。27年度には郷分団2部の屯所の外に設置をするので、合わせて12カ所になる。50カ所全部の24時間対応はできない。

AED(本庁舎窓口)



※AEDとは

心臓がけいれんを起こして血液を送り出すポンプとしての役割が果たせなくなる心室細動を起こしている状態のときに、心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す器械
自動体外式除細動器

問 災害時のライフラインの
対策は

答 避難所含め体制を整備中



田中一孝

一般
質問

田中

災害時のライフライン整備・エネルギー施設・水供給施設などの対策や課題はどうか。

下元総務課長

エネルギー（電気）は今年度補助事業で発電機の配備をした。水の供給については浄水器を2台配備している。

高橋西庁産業建設課長

災害時の水の供給について災害が発生した時には町内の業者で水道工事ができる体制にしていく。また今後は水道施設の耐震も考えていきたい。

田中

水道が使えなくなったりとを想定して公共施設に井戸の設置はできないか。

高橋西庁産業建設課長

津野町は水が豊富で水質はA水準であり災害後にもろ過し塩素の点滴を行えば十分飲料水の確保はしている。



奥四万十博津野町ポスター

田中

奥四万十博での地域住民が活動していける推進組織や体制はどうしていくのか。

池田町長

奥四万十博を契機として飛躍の機会とするために商業者はもちろん地域づくり活動をしている皆さんにも参加していただく。行政主導の組織でなく民間主導の組織作りを進めていきたい。

問 地域活性化と
奥四万十博の位置づけは
答 意義を自覚し皆で進めたい

問 災害時の福祉避難所が
必要ではないか

答 四力所の福祉避難所を
指定している

田中

災害時に一般避難所で高齢者・要介護者・障害者などの要援護者に対し福祉避難所の設置が必要ではないか。

下元総務課長

福祉避難所は総合福祉センター里楽、西庁福祉交流センター、葉山荘・高原荘の四カ所を指定している。平成27年度は補助事業を導入し整備を図っていく。



各避難所へ十分な配備を

田中

3月に津野町観光開きが行なわれるが、観光・産業振興で元気な町づくりをするために商工団体や地域活動組織も関わっていく活動が問われているのでは。

池田町長

任意団体主体だけでは無理があるので行政も仕掛け人となるよう日頃から地域との関わりに積極的に参加していきたい。

問 観光イベントの企画や
取り組みは

答 各団体と共に行政サポートで

問 空き家対策と
今後の活用は

答 モデル住宅を設置したい

田中

県が平成26年度に空き家活用促進事業をスタートしたが津野町での取り組みは遅れているのではないかと。

池田町長

空き家調査が終了して入居可能物件もあるが、台帳化して移住希望者に対して情報提供できるようにしたい。平成27年度事業としてモデル住宅を設置し普及をしていきたい。

問 地方創生の総合戦略策定と
組織体制は

答 総合戦略推進会議を設置

田中

地方創生は津野町の今後の5年間で左右する重要な施策と考える。町独自の総合戦略、地域活性化施策をどのようにしていくのか。

池田町長

総合戦略の骨子として「新たな産業の創出」「人の流れの創出」「安全な暮らしと地域の絆の創出」を推進軸にしていく。大学教授・金融機関・農林商工関係者・企業関係者等を交え推進会議を開催していく。



西元和代

一般質問

問 食育の今後は

答 家庭と共に伸ばしていく

西元

食育の成果は少しずつ現れていると思うが、朝の忙しい中でのお弁当づくりが負担になっている家庭もある。お弁当持参の行事がある月は食育の日のお弁当を休みにしてはとの声もあるが、今後の取り組みは。また、食育は大切だと思いが学校だけでは決してできない。同じ方向に向かうためにも食育推進計画を保護者の集まる機会に配布し、

何のためにどんな取り組みをするのかを共に学ぶべきではないか。
川上教育長

始めて間もないので状況を見、保護者の意見も聴きながら次のステップに向けて検討する。食育推進計画は作っただけで家庭に十分周知していなかった。家庭と共に子ども達を伸ばしていきたい。

西元

津野町の伝統、須崎半紙は県の無形保護文化財の一

つである。現在2学校が手漉き和紙での卒業証書作りをおこなっているが、津野

問 須崎半紙の伝承を

答 何らかの対応で行う

町を語れる子ども達を育てていくために、かつて新莊川流域から農村地域に住む住民の家族的生業だったこと等歴史的背景も含めての伝統継承を兼ねた取り組みをしてはどうか。

また現在、町内最後の生産者も現役を退かれた。この伝統を閉ざしてしまわないよう町として残すべく取り組みはできないか。

川上教育長

重要なことである。一日先生のように地域の方を招いて話をきくこともできる。卒業証書については学校長にも話し、来年からできれば3校が生産や加工、歴史的背景も学ぶよう充実させたい。

池田町長

人材にかかってくる。人づくりにも積極的に取り組まなければならない。町内在住の人に限らず何らかの対応の中で伝承していく。



和紙を漉く馬関、山崎さん

西元

全国的には一般公募されている自治体もある中で津野町でのまちづくり計画や介護保険事業計画等、町の方向性に関わる計画の策定委員はほとんどが公共的団体の会長等の役職員である。実際に「これは現場の人に参加してもらわなければ分からない」という声も聞く。長期的戦略をもつためにも役職ありきでなく、各組織内においての適任者を推薦する等、工夫をすべきでは。

池田町長

これで良いと思っている。各専門組織の代表として全体を熟知しているはず。特に役所内の専門職で内部協議を十分している。

問

策定委員のあり方の改善を

答 今まで通りで行う

問 職員に現場経験を

答 積極的に取り組む

西元

町の福祉・介護現場への行政からの出向は課長ばかりである。中堅クラスまでに現場を経験すればその先の計画にも活かしていけると思うがどうか。

池田町長

非常に有用なことで職員にとってもプラスになるが職員数からして長期派遣は難しい。短期研修での現場経験は積極的に取り入れていきたい。

その他の質問

問 里楽利用向上に向けてトレーニングルームのみの利用を低価格で試行してみたい
答 B&Gと里楽の水泳教室の連携を
本人が望めば可能。PRを優先する

答 検討の上より良い施設には



大わらじ（宮谷）

**問 「地方創生」
県との連携は**

答 県の産業振興計画を基に

池田町長 県の産業振興計画が大きく影響してくる。計画に出ているものは積極的に支援することなので改めてこの機会に検証するとともに県のアドバイスも受けながら新たな計画も策定する必要がある。また、内閣官房創生本部より、策定にあたっては議会と執行部が車の両輪となつて推進することが重要であるとの通知をいただいております、総合戦略策定の協議には議会より意見や提言をいただきたい。

池田町長 平成22年に小学校が統廃合された。そうした地域に呼びかけながら地区内でワークショップ等実施し計画を進めている。施設等整備後は地域の裁量で有効に活用できる施設とする為、指定管理制度を導入し管理運営をさせる方向で進めている。集落の特色を活かした運営を図るべく健全運営に向け指導していきたい。



ワークショップ（郷地区）

池田町長 ステップ住宅も2棟目となり、当然10年以内に出ていただくこととなることから新しい定住分譲団地を場所等も十分に検討しながら提供できるように取り組んでいく。

大崎（公） 若者定住住宅（もんて家）は10年以内に退居しなければならぬが本来の目的である町内への定住へ向け、安価な定住団地の造成等が求められるがどうか。

**一般
質問**



大崎 公孝

大崎（公）

地方版総合戦略策定に当たって県との様に連携するのか。また議会をどの様に関与させるのか。

池田町長

池田町長

池田町長

町内それぞれの地区において集落活性化に向けた取り組みが活発に行われている。大変心強い状況であるが地域住民の考えや思いをどの様に意見集約しているのか。また、相当数の施設を指定管理させるがどの様な効果や問題点があると認識しているのか。

大崎（公）

津野企画調整課長

新たな施設のみではなく既存の施設も対象である。活気ある地域づくりに取り組む団体に最長3年間、最大で年間30万円を補助するものである。

大崎（公）

新年度集落活動拠点施設等において、交流活動や環境整備など活気ある地域づくりに取り組んでいる住民組織を支援する新たな補助制度を創設予定であるが、これは新たに指定管理を受けた施設のみか。既存の施設も対象になるのか。

**問 集落活性化を
施設の有効活用を**

**問 定住住宅から
定住団地へ**

答 検討し提供へ

問 命の水、整備促進を

答 全町簡水化へ向け

大崎(公)

町民が生活する上で必要不可欠なものは水である。平成27年度整備予定の大野簡水における西黒川や飲供施設整備における下桑ヶ市以降のいわゆる未整備地区への取り組みや課題を問う。また、高齢化が進む中、現在の地域管理の飲供施設の簡水化への取り組みはどうか。高橋西庁産業建設課長

では水源の確保であり、地域の理解を得、あくまでも自然流下方式による整備を行っていききたい。現在何地区か要望が出されており、今後20億を下らない事業費が想定される。可能な限り事業費を抑制しながら全町簡水道化へ取り組んでいきたい。また、既存の飲供施設の簡水化への取り組みについては、メーター整備等を進めることにより将来の簡水への統合も視野に入れていく。

問 木質バイオマスエネルギー取組は

答 経済性を判断したのちに

池田町長

町内4施設について需要供給バランスは良いとの報告を受けている。今後は設備投資・経済性を重視し判断しなければならぬと考える。現況「高原荘」は可能性が高いと報告を受けており「葉山荘」「里楽」については2施設を1つの供給体制でやれば効率が良いとのことである。

大崎(公)

朝見谷土場の残余の土地への木質バイオマスエネルギー施設の検討状況はどうか。費用対効果の見極めは重要だが地域循環型システムの構築を考えると、一定の効果は期待できるかどうか。

問 子供のSOSを見逃すな

答 アンテナを高く上げ情報収集

大崎(公)

神奈川県川崎市の大変ショッキングな事件が発生した教育の一義的な責任は家庭にあるとしても、すべての家庭が子供の変化や動向に敏感に反応するわけではなく一部とはいえ、地域や学校のフォローが必要な子供もいる。今回の事件を受けての所見を問う。また、人の痛みや人命尊重など道徳教育の必要性を再認識させられるが本町における取り組みや効果を問う。

池田町長

たくさんSOSが出たにも関わらず、大人がSOSをとれる状況や環境になかったのではないかとアンテナを高く上げ情報を収集・共有し、早い時期から対処していく。津野町の子供をいかに守っていくのかしっかりと自覚しながら対応していきたい。

川上教育長

自他の命の尊厳を学んだり、自尊感情を高めたり、人の心あるいは感謝する気持ちを抱かせたりといったことを今後道徳教育で育んでいきたい。今回の事件も命の尊厳について道徳を学ん

問 茶業の現況は

答 厳しい状況が続いている

大崎(公)

平成27年度において茶工場の整備等に着手するが茶業の現況はどうか。また今後の振興策等はどうか。

黒川産業建設課長

生産環境は資材の高騰や単価安が続く非常に厳しい状況が続いている。町内両地区で生産者は25名おり、平均年齢は津野山69才、葉山地区73才である。また、生産面積は合わせて35.5haであり、総生産量については合計生葉概算で137tである。合併した平成17年から生産額で7千200万円(△58%)という数字である。そうした状況下、昨年両組合と協議を重ね、両茶工場を統合し、JA津野山の茶工場を改修し品質向上や販売額の強化につなげ、後継者の育成や生産意欲の向上に繋げていきたいと考えている。

問 地方創生の取り組みは

答 戦略を策定



西森盛幸

一般質問

西森

政府は2015年中に人口減少問題克服のために企業誘致や人口増への移住施策に取り組みなど計画作成した市町村に対し予算を配分するとしている。どのように取組むか。

池田町長

町の課題である3本の推進軸を基に各方面からの意見を集約し町民に身近な施策を盛り込んで戦略を策定していく。町が抱える課題は人口減少であるので、大胆な処方箋が必要と考える。

西森

全国の市町村のアンケートでは人口減少対策として、雇用確保・移住支援・空き家提供・家賃補助などの住居支援が必要となっている。本町でも町外への通勤者の補助を考えてはどうか。

池田町長

雇用の場の確保については単一の自治体だけでなく、広域的な企業誘致が必要。通勤者の補助は、対処的な対応ではないか。



完成した若者定住住宅monte家（姫野々）

問 小中学校の統廃合の考えは

答 現段階では時期尚早と考える

西森

文科科学省は1月に公立小中学校の統廃合に関する手引き案を公表した。精華小学校の保護者より統合の話もでていたが町長の考えは。

池田町長

文科省の基準では、本町の小学校は1校か2校が適当であるが、学校は地域の大きな核になる要素を持つ施設である。児童生徒数の減少だけで統廃合は考えるべきではない。統廃合は現段階では時期尚早であると判断している。

川上教育長

存続のために工夫し学校を残して欲しいと多くの声がある。地域や保護者と共により良い方策を考え、努力していく。



精華小学校入学式

西森

問 大人の引きこもりの支援は
答 地道に支援して行く

20代〜50代の家から出られない大人たちの支援は全国では色々な取組みで成功例がある。町としてはどのように支援をし取り組んでいるか。

津野西庁住民福祉課長

現在、保健衛生係や保健師がソーシャルスキルトレーニング（社会技能訓練）などで必要時に本人や家族に助言を行い、日中の過ごし方や生活リズム・外出支援等当事者と一緒に検討し実行できる内容を設定し支援している。今後とも地道に支援活動を続けていく。

一般質問



山本昇平

問 虎太郎邸の落成と今後の活用は

答 盛大な記念行事としたい



完成した吉村虎太郎邸（芳生野奈路）

山本 吉村虎太郎生家が復元されるが、落成記念行事と今後の活用は。

川上教育長 落成時には文化的景観を重視した行事としたい。文化庁調査官の記念講演を予定。歴史家・加来耕三先生

山崎生涯学習課長 指定管理者による運営を行う。特産物の販売等、地域の活性化をめざし、併せて四万十川流域の重要な文化的景観の案内や郷土学習館としても活用していく。

の講演計画を別の日に進めていく。

問 再生可能エネルギーの活用は

答 情報収集していきたい

山本 本年は水素元年といわれている。日本電源開発の調査では、本町で四万キロワットの風力発電が設置可能との調査結果があり、小水力発電等、再生可能エネルギーに取り組むべきでは。

池田町長 水素が二酸化炭素を全く出さない究極のエネルギーと理解している。本年から燃料電池車が販売されるなど動きが活発化してきている。水素は製鉄所の副産物としてできると聞いているが、今後再生可能エネルギーによる水素製造の動きが必ず出て来ると考えており、まずは情報収集をし、関連企業、研究機関の誘致など当然考えていかねばならない。

問 森林資源を
活用すべきでは

答 経済効果につなげたい

山本

森林の中にある希少植物の活用をして活性化に取り組めないか。

池田町長

特用林産物について調査してきたが、収益性が見込めない。今後、東京農大の宮橋先生にアドバイザーをお願いし、特用林産物の調査研究に力を入れ取り組む。

山本

自然休養村管理棟として昭和57年に建てられたが老朽化し、アスベスト問題がある。何らかの対策は取れないか。

池田町長

老朽化とともに、耐震化、アスベスト等の問題がある。この施設は高野地区の所有物となっており、施設を地域活動の中での位置付けが必要。今後町として地域とともに議論し考えていきたい。

問 風神荘の活用は
答 地域と議論したい



老朽化が進む風神荘（高野）



議会のうごき

2月

- 1 || 津野町制施行10周年記念講演・式典(B & G 海洋センター・福祉交流センター)
 - 3 || 国道439号新矢筈トンネル早期実現期成同盟会要望(県庁他・議長)
 - 7 || 地方創生フォーラム(高知市・議員)
 - 12 || 第1回津野町議会臨時会(本庁・議員)
 - 19 || 産業建設常任委員会(町内・委員)
 - 20 || J A 津野山合併20周年記念式典・祝賀会(梶原町・議長)
 - 25 || 高幡町村議会議長会臨時総会(高知市・議長)
 - 高知県町村議会議長会第66回定期総会(高知市・議長)
 - 高知県町村長・町村議会議長大会・意見交換会(高知市・議長)
 - 26 || 矯正施設等誘致調査特別委員会(東京都・委員)
- (27日まで)

3月

- 1 || 梶原高校卒業式
(梶原町・議長)
 - 2 || 議会運営委員会
(本庁・委員)
 - 3 || 高幡広域事務組合議会他
3月定例会
(須崎市・議長)
 - 6 || 第2回津野町議会定例会
(本庁・議員)
 - 7 || 休会(9日まで)
(本庁・議員)
 - 10 || 一般質問
(本庁・議員)
 - 11 || 議案審議
(本庁・議員)
 - 12 || 全員協議会(本庁・議員)
 - 13 || 議案審議、閉会
(本庁・議員)
 - 13 || 葉山中学校・東津野中学校卒業式
 - 20 || 高幡東部清掃組合議会定例会
(須崎市・議員)
 - 22 || 中央小学校卒業式
 - 23 || 葉山小学校・精華小学校卒業式
 - 24 || 津野山広域事務組合議会定例会
(梶原町・議員)
- にじいろ園・さくらんぼ園卒業式

4月

- 1 || 徳島県町村議会女性議員意見交換会
(高知市・議員)
- 10 || 奥四万十博推進協議会
全員協議会
(須崎市・議長)
- 13 || 議会だより発行調査特別委員会
(本庁・委員)
- 17 || 議会だより発行調査特別委員会
(本庁・委員)
- 19 || 中土佐町第2号津波避難タワー落成式典
(中土佐町・議長)
- 27 || 全員協議会
(西庁・議員)

ただ今
花嫁募集中です♥



※新コーナー (わが家のペット紹介)

今回から始めました新コーナー我家のペット紹介では、あなたの自慢のペットを紹介いたします。詳しくは議会事務局まで…

(初回は編集委員の大崎公孝さんのペットでした)

- ・住所 床鍋
- ・名前 大崎 大(だいちゃん)
- ・生年月日 平成22年1月21日
- ・犬種 白柴犬(オス)
月光龍号 丸沢JP

飼主さんから一言

・3人の子供たちは皆、県外で生活をしているので、夫婦の会話もほとんどだいちゃんの話題で唯一の癒しです。

編集後記

中央小学校の6年生が3月12日、議会の議案審議を傍聴した。若者の「政治離れ」「政治意識の希薄化」が叫ばれ久しい。

小学生時代から政治に興味をもってほしいという思いから、総務常任委員会で学校訪問を行った際に声をかけ実現したのだ。子ども達にはじめての議会は、どう映ったのだろうか。期待と不安が入り交じる。いつの日か、津野町の子ども達による「子ども議会」の開催を夢みている。

いずれにせよ町民にとってより一層身近で親しみやすい議会を目指したい。
(文責・川上智子)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。